

### 障がい者雇用の推進に向け 企業内の人材育成支援を

水谷 隆 議員  
(自民みらい/いなべ市員弁郡選出)



#### 問

障がい者雇用を取り巻く厳しい状況を踏まえ、県議会では「障がい者雇用促進調査特別委員会」を設置して詳細な調査を行い、その結果、県当局に対し、今後の取り組みを進める上で特に重視すべき点について4点要望しました。その中でも、企業内で障がい者を支援する人材の育成や確保は特に重要なものと考えますが、今後の県の取り組みについてお聞かせください。

#### 答

県では企業に対する人材育成支援として、障がい者の態様に応じた業務指導方法等を身に付ける研修、「採用」「育成・指導」「定着支援」といった障がい者雇用のプロセス構築の支援、さらには「Cotti菜」を活用して障がい者と適切なコミュニケーションがとれるようステップアップするための研修を実施します。



Cotti菜

○人口減少対策について ほか

### 三重県食育推進計画における 目標達成状況について

津村 衛 議員  
(新政みえ/尾鷲市北牟婁郡選出)



#### 問

第2次三重県食育推進計画は平成27年度が最終年度であり、計画推進にあたって5つの目標を掲げています。この中で、朝食を毎日食べる小中学生の割合の目標は100%、学校給食における地場産物を使用する割合の目標は40%を掲げていますが、最終年度を迎えるにあたって、目標の達成状況や県教育委員会の取り組みについてお聞かせください。



みえの地物が一番 朝食メニューコンクール中学生の部最優秀作品

#### 答

今年度、朝食を食べる小学生の割合は87・6%、中学生では83・8%で、学校給食における地場産物を使用する割合は31・1%（見込み）です。現在、朝食の大切さについての家庭への啓発や生産者と学校給食関係者が連携した優良事例の紹介などを行っており、今後も目標達成に向けて進めていきます。

○熊野古道について ほか

### 「仕事モデル」を 作るという視点

村林 聡 議員  
(自民みらい/度会郡選出)



#### 問

若者定住という視点から考えると、合理化して少人数で多くのものを生む方が良い「ビジネスモデル」よりも、できるだけ多くの人たちが働いて生活が成り立つだけの収入が確保できれば良い、いわば「仕事モデル」という視点が重要だと考えます。県版の総合戦略における社会減対策には、この視点の転換が必要ではないかと考えますが、知事の考えをお聞かせください。

#### 答

地域の中で、地域にある資源を活用して、働く場を生み出し、その地域のコミュニティを維持していこうという考え方には賛同できます。県内の多様な地域の状況から、この考えで働く場や定住の場を作りだしていくことは重要な視点だと思いますので、県版の総合戦略を策定する中でしっかりと検討していきます。



○水産の未来 ほか

### 松阪牛ブランドの 海外輸出支援策の強化を

前田 剛志 議員  
(新政みえ/津市選出)



#### 問

わが国の昨年の農林水産物・食品の輸出額は過去最高を記録し、本県でも輸出促進の取り組みとして、松阪牛等の海外プロモーションを行っています。松阪食肉公社の食肉処理施設は老朽化が進み、輸出に必要な衛生基準を満たしていません。知事は選挙の際、松阪牛の世界展開を行うための施設整備を約束しましたが、同施設の改善について、考えをお聞かせください。



松阪食肉公社の食肉処理施設

#### 答

財政面など実現に向けた課題はありますが、整備が必要との思いは変わりありません。昨年と同公社において将来の経営に及ぼす影響や牛肉輸出への対応も視野に置きながら施設整備の検討を進めています。今後も、関係市町等と十分に連携しながら、さまざまな手法を検討しつつ、議論を進めていきます。

○木造住宅や大規模建築物の耐震化促進について ほか

文中の傍線部分については、5ページに用語解説を掲載しています。